

## 静岡県信連について

### 1. 静岡県信連の概要

(平成30年9月30日現在)

- 設 立：昭和23年8月
- 住 所：静岡市駿河区曲金三丁目8番1号
- 会 員 数：51会員（正会員31会員／准会員20会員）
- 出 資 金：1,113億円
- 役 員 数：経営管理委員16名／理事5名／監事4名
- 職 員 数：274名（男子172名／女子102名）
- 店 舗 体 制：本店／富士営業部／浜松支店

### 2. 経営方針

#### 経営方針

当会は、“農業金融を協同の精神で支援する県単位の連合組織金融機関”であるとともに、“地域社会と地域経済に密着した金融機関”として会員・お客さまの期待と信頼にこたえることを使命とします。

#### 理 念

- 連合組織金融機関として調和を大切に効率的な組織機能を発揮します。
- 創造性ある金融サービスをとおして地域社会と夢のあるつながりを目指します。
- 社会的責任を自覚した健全経営を行います。

### 3. 静岡県信連グループ中期経営計画

当会では、農業者・利用者・地域に選ばれ、成長し続けるJAバンク静岡の実現に向け、「静岡県信連グループ中期経営計画（平成29～31年度）」における「農業所得増大・地域活性化への全力投球」、「JAバンク静岡の発展に資する更なる機能発揮」を使命と位置付け取り組んでいます。

#### 静岡県信連グループ中期経営計画（平成29～31年）

##### 【使命1】

農業所得増大・地域活性化への全力投球  
～JAバンク自己改革“3本柱”の実践～

地域No.1戦略（農業メインバンク機能強化）

オンリー・ワン戦略（生活メインバンク機能強化）

安心バンク戦略（経営管理・ガバナンス・営業基盤強化）

信連グループ体となったJA事業サポート戦略

##### 【使命2】

JAバンク静岡の発展に資する更なる機能発揮  
～JAバンク静岡としての財務健全性確保～

「食と農」の専門性を活かした融資戦略

安定した利益還元のための余裕金運用戦略

安定調達戦略

安定的財務運営戦略

## 4. JAバンク自己改革の取組み

農業を取り巻く状況は厳しさを増すなか、JAグループは、平成26年に自らの改革として「JAグループ自己改革」を策定しました。JAバンクも、JAグループの一員としてこれまで以上に農業・地域に貢献していくため、信用事業の取組みを「JAバンク自己改革」としてとりまとめ、より一層加速させて実践しております。

当会におきましても、JAバンク静岡アグリサポートプログラムをはじめとした農業者支援や、JAらしい金融サービスの提供等を通じ、農業・地域経済の発展に貢献していきます。



## 5. 農業メインバンク機能の強化等にかかる取組み

### <JAバンク静岡アグリサポートプログラム>

JAバンクでは「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」として、①グローバルな食市場獲得応援、②農畜産物の付加価値向上応援、③担い手の規模拡大等効率化応援、④地域活性化等応援の全国施策を展開しています。

当会は、静岡県の特性を踏まえ、全国施策ではカバーしきれない領域を加え、平成28年度から平成30年度まで「JAバンクアグリサポートプログラム」を展開しています。

#### ①JAバンク静岡保証料助成

農業資金のお借入をされる農業者を支援するため、保証料助成による金融支援を行っています。

#### ②自然災害による農業被害への金融支援

台風・凍霜害・雪害等の自然災害に遭われた農業者へ利子補給・保証料助成による金融支援を行っています。

#### ③担い手農業者への融資サポート策

担い手農業者が必要とする資金のうち、JAが要項適用外等の理由により対応が困難なものについて、当会の審査基準・与信判断により対応を検討します。

#### ④親元就農支援

若い労働力の確保や後継者育成につなげるため、親元で農業を学ぶ新規就農者に育成支援を行っています。

#### ⑤担い手育成支援

農畜産業の担い手の育成や、地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化につなげるため、県内の農業高校や農林大学校の学生が行う研究等に対して費用助成を行っています。

#### ⑥農業者の知識・技術向上支援

農業者の農畜産業に関する知識や技術の向上及び農業者の所得向上を目的として、JAが開催する研修等に係る運営費用の助成を行っています。

#### ⑦農業振興支援

県下JA又は、JA出資型農業法人が行う地域農業の継続的な発展に向け、将来の担い手への技術指導・育成支援並びに農業所得向上に向けた営農支援体制を整備することを目的として実施される事業に対して助成を行っています。

#### ⑧柑橘果樹経営体応援

県内柑橘果樹生産者に対して、機械化による省力化の推進や高品質化に向けた技術導入を促進するために、購入費用の一部に対して助成を行っています。

#### ⑨GAP第三者認証に関する支援

農業者がGAPによる適切な農場管理及び第三者認証取得を目指すために、JA組織として導入に向けた体制整備や指導員資格等取得費用のうち、当会が承認したものに対して助成を行っています。

#### ⑩マーケティング支援

マーケティングに係る情報等を掲載した機関誌を作成・配布し、農業経営におけるマーケティング意識の向上を図っています。

#### ⑪JAバンク利子補給

農業資金の融資を受ける農業者の借入負担の軽減を図り、経営をバックアップするため、利子補給による金融支援を行っています。

#### ⑫新規就農応援

独立新規就農者に対して、経営が不安定な就農直後における営農費用の支援、また、より多様な新規就農者を育成するために新規就農者の研修受入先に対しても助成を行っています。